多くは燈火を用ひさきハ暗くて目ゝ前のものゝ見えがたき所なきハ。一間いきバ一間。二間いきハ二間。やゝ〳〵に空氣うすくなりて。身ゝ寒さをおぼえ。手足ゝ行ゝふまゝゝ働らきなく。その緯線ゝ奥なるごとくなり。即ち上下ゝ經線まゝて。數十丈の棧あり。工夫ならしハ大きをゝ行ゝくゝ次ゝるとおもハれ。そこゝ行ゝか此間旋器をもちゐて。物ゝあけおろゝを主ゝ。其車の音ゝ杉とゝろ〳〵〳〵裏けゝる。燈火ゝ行ゝのにまゝゝ行ゝる。いとものすごく心冷え。膽消んと

主ゝ語りいゝてゝゝ夜いゝふく更ぬきハ。杉のくゝちふゝぬ。魚津ハ戸の數二千五六百ゝあり。むゝ上杉謙信ゝゝゝ城をかまへて春日山の砦ゝたる所なきハ。そのなゝゝ今ゝにぎハへり。

本部出品
君
立憲民政黨政務調査館主催憲政功勞者遺墨展覽會
昭和十一年十二月一日